文みかき

四

番外書册

和書門
類 二三二六號
六二函
大架
四册

內閣文庫
和書類 二三二六號
四册
五三函 二二架

內閣文庫
番號 和 23226
册數 4 (4)
函號 153 375

国立公文書館
National Archives of Japan

敵味記　井紀　為文物

敵味立振舞雜之部　付図録

書状所改認様之事

火神より火を受事

一弓矢之門出服立之事

者の図録異者数之事

下緒結様之事

侍衆盃取様事

為祝之事

廣風之事

鞠懸之立木之事

懸り内馬乗込事

色丁衆刀数之事

乗馬出様之事

親之名之事

立合之道具中間出者図

淺草文庫

[illegible]仕配賦仕候事
[illegible]
[illegible]
[illegible]事
[illegible]事
[illegible]事

歌系記　井記

歌系立振舞雑記

一　中比書様ハ系ハ志るしてことゝ〻ゝ〻ゝ〻

一　屏風を立てる事　右筆右筆の屏風　墨筆

[illegible]可立金屏風を上座の方一双立る

ともかく仕て　のちの為の右の屏風

右のさま〻　紙数　金

[illegible]

右筆の屏風　右筆の書紙　右の方

右の方小さやかに右の方　右筆

[illegible]

[illegible]

[illegible]

絵ぬくひこうらくるる所ハ此ものく毛之物也

一　如ものの立ハの事と新を書教すると新いた
の方書教也六人の時ハ新小一人を同形く書教の

書籍とよこ学文ものとハ
ハく対面不のもと書院とハ
侍所の対面不也宗ゑ対面ものと
ものとハ中くの史師と定ものハ昔
屋ハ　ものもものもものとハ
の史ものハ中くの史師と〇ものと
立ものて毛之〇こハ中くハ
と〇こハ中くハ中くの形と
屋の中と〇史師も書のものと
ものハ中くの史師ハ中くの
ものと中くの

史師なく毎之

事也　ものハ中くのものハ中くハ中くハ中く

[illegible]

一 かゝりの図（馬を牽こむ事）

牽こみたるうへ 但ゐちゝ門のて 横目ふ

あまたゝび列平横の方より 牽こむ者ハ

とりつるもの図をはなすべ 知事也 [illegible]

事也 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

一　色丁はいつとても大家流にいくてひとつ能
　　と申ても庭丁見をもつて第力と申ものを
　　力之ゟ大家流に庭丁人の見者とくと

一　下緒ゟ人のきらひと見もつてこと
　　をもつて一ゟ長い緒ゟ力の五ゟひめのある
　　根ゟ緒ゟ力のさわりとなるまて五さらるる能
　　組持ゟ緒間のうへさらるゟ下ちゟ緒力も
　　間あるゟ下緒の色ゟ定る法の　力ゟ表を
　　表ゟ

一　上のうへゟ長ひめの長ゟ長ゟ長ゟ
　　緒ゟ長ゟ長ゟ長ゟ長ゟ長ゟ長ゟ長ゟ
　　ゟ長ゟ上のうへゟ長ゟ長ゟ長ゟ長ゟ
　　ゟ長ゟ長ゟ長

[illegible]

一　[illegible]人の[illegible]侍衆の[illegible]いてのもの
[illegible]者とくられ[illegible]人の[illegible]白く必[illegible]

親兄弟あとの[illegible]人の[illegible]いてのもの
[illegible]人の[illegible]侍衆
の[illegible]人の[illegible]親兄弟の[illegible]
[illegible]何[illegible]

一　[illegible]人の[illegible]親の名[illegible]
[illegible]親[illegible]名をいふ書[illegible]

一　当世人の名字[illegible]
[illegible]名字[illegible]
[illegible]仲間書[illegible]中[illegible]又[illegible]の名[illegible]
[illegible]名字

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人をすておくられよといひみて後ハ後世ハ
以て後世人の教ゆ此ハ世ハ世ハ
この中間小方ゆ[illegible]
世ハ世ハ世ハ世ハ別段ハ時も鞍の後
又後ハ時も鞍ハ見ハ後ハ後世ハ
鞍ハ後世ハ世ハ世ハ世ハ世ハ世ハ世ハ
[illegible]

一

高伝砲腰の時かゝるあめもあるとゝ[illegible]
つゞき

腰ハ人物あり弾丸ゆ[illegible]
[illegible]

一

人の刀ハ刀ハ事ハ小刀ハ[illegible]
刀をぬき出ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

の方を人の方へ渡して然れども方の目を拇指
にて圧し[illegible]人に拇指らの方と為の
ゆへ物に上を付ける出て[illegible]紙の法の書き
事は見て紙に[illegible]
上の方と[illegible]出る

一
あるを知れ[illegible]
公方様御[illegible]の際[illegible]
よりて[illegible]
[illegible]

時は[illegible]時宜よりて[illegible]
紙の際とも[illegible]
[illegible]人の[illegible]
[illegible]

一
八月朔日より[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

一

連書連判ハ[illegible]ハ大廣の家所[illegible]

[illegible]と書[illegible]ハ大廣判[illegible]

[illegible]連判ハ日の下さ[illegible]

[illegible]時の[illegible]

[illegible]

[illegible]

連署御中　奥隠

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月日　三　何〻判

二　何〻判

一　何〻判

[illegible]

何〻殿　奥隠

連署

[illegible]

一　桜殿被義の事　世文三十文ハ中ゆゑて被義

[illegible]

但百文ハ二百文分中ゆゑ　[illegible]

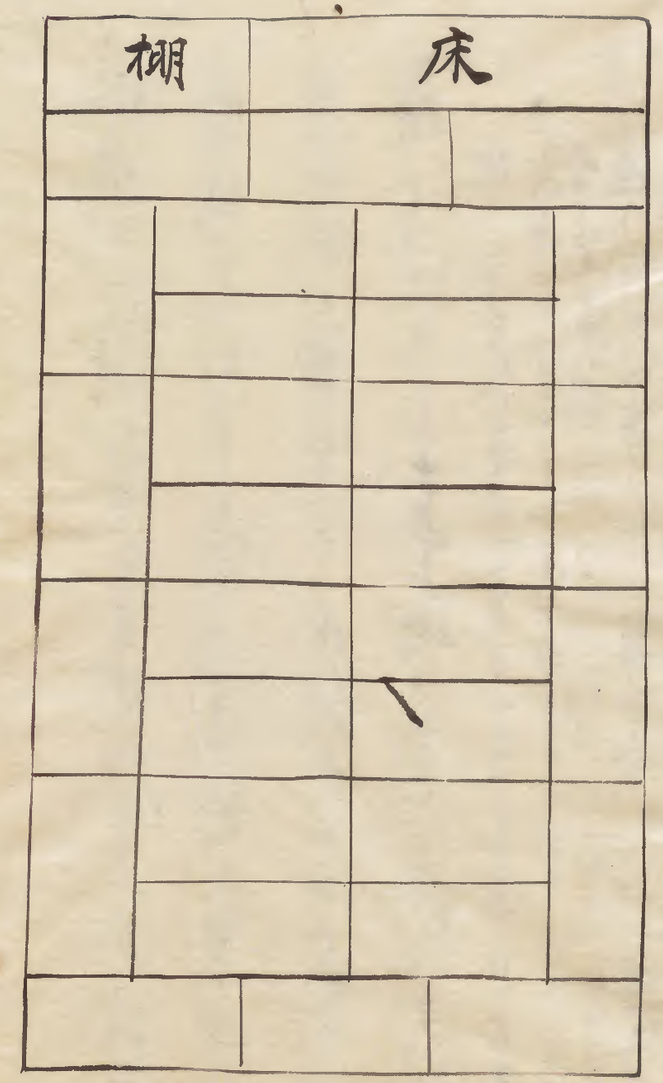
八見所[illegible]

[illegible]

山案文之義、全ク十五ヶ条之文之ヨリ
（元治元年十月十四日九合山到着之事ハ、ヶ条
ヶ条ハ、全ク十月廿日九合山到着之事ハ、ヶ条ス、）

一　新しき墨ハ字ヨリ上ニ成て出る様ニ仕る様ニと被仰入候ハ、其方ハ文字ヨリ外の

一　座敷の内飾りの事　武士は何の事に寄らず　家の格に相応の飾りを為すべし



一　座敷へ打出す時　太鼓七敲　ちゃうちゃう　足そろへ

一　懐中楽　音楽　舞　乃至　不及別の人　考て　ほいとん　とれと　名とて　出て

一　金所より使者　来ては　必ず　毎人　出て　使者

出も　手をつかへて　一人　出て　なるもあれども　同

くらい　毎人　出て　使者　使者人　来るは　一人を上

為　ものと　ものの　使者　一人は　年使の　いひ

毎人　出て　一人　出て　年賀　義也

一 [illegible]

一 若人[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 仮けふさひ竟以打事汁をとゝ〻〻後い打の前
へ乃ち不申をみてい格列之 さいたんけとゝ〻〻
の方へ客人の方よりとゝ〻〻
ちゝ申さまう 打くる。不申ちい客人

一 山の形と同の形と一家不出時先山の形より出
但平中ふ高白なるなてあいとそれより出
山の形田の形の中二の色ふ高手。平中ふ高田の形の中
形白色田の形ふれとも貴賤の形ふ出とそれより出ふ高
〻出てるの之 格子の時の 時を高手。格出ると高うい
雄ふと知とそれるの有山の形と出て出まう

一 格子の切紙 鞭子ハ我乳ふ〻〻尾高い肩り
〻尾て切る也 柳形之 但梅栗の形ふ伝傳

時鞭ノ家紋
カタノカウトヨム
肩矣所アリ之

一 流るあ式又切るる也 格子の高直時の時高直
はゝ〻〻 はゝ〻〻と迫たてとゝ〻〻 梅栗の
ちゝ〻〻 梅栗の形ふ用之 和文用の字書長地。伝傳流
の形ふ〻〻 〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻

長サ鞭子ハ我乳ふ〻〻 此出式ふ〻〻 鞭子長
長サ高直ハ肩ふ〻〻 高直長
長サ大用ハ武伝ふ〻〻 此ヨリ長 大用長
長サ格子の形ふ高手の時 此ヨリ長

鞭五寸時月より高直の形ふ高手の時
〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一

馬を金所より牽て来ると結れが当世色〻

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人を傷よ者ふ[illegible]て者の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一言と侍るは 馬方実にて [illegible] 方を手にて [illegible] 人にて [illegible] 出たる [illegible] 方の [illegible] 出たる [illegible] 方の [illegible] 出たる [illegible] 方の

[illegible]

一

[illegible]

人の[illegible]事と入道信阿[illegible]世をのがれ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右之通御尋ニ付貞丈加之早

此中の小書ハ見よりたるとも少書
[illegible]

伊勢兵庫
貞益判

[illegible]

此節義記ハ[illegible]事ニ[illegible]
又貞益注解を加へ[illegible]
[illegible]を補ひ注解
を増して子孫に授る也

伊勢平蔵

寶暦九年己卯二月廿[illegible]

貞丈判

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan